

第6学年 組 道徳学習指導案

平成23年11月10日(木) 第5校時  
 在籍児童数 男子15名女子14名計29名  
 指導者 教諭  
 場 所 6年 組教室

1. 主題名 目標に向かって 1-(2) 希望、勇気、不撓不屈 関連 4-(7) 郷土愛  
 2. 資料名 「島村盛助ー日本語と英語をつなぐ だれよりも言葉を大切にした英語学者ー」  
 (編集・発行 宮代町教委員会)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題である高学年の内容項目1-(2)「より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力する」は、自分の夢や目標など高い理想の実現に向けて、信念を持って最後まであきらめずに努力していこうとする強い意志と実行力を育成することをねらいとしている。これは、中学校の内容項目1-(2)「より高い目標を目指し、希望と勇気を持って着実にやり抜く強い意志を持つ」へとつながっていく。

この内容項目では、自分の努力目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、その理想に向かって着実に前進していこうとする強靱な意志と実行力を育てることが必要であり、その際、希望をもつことの大切さや挫折感を克服する人間の強さを指導する内容である。中でも不撓不屈とは、障害や困難にくじけず、最後まで粘り強く着実にやりぬくことであり、それなくしては夢や希望の実現ははかれない。そのためには、身近な日常生活の中での目標を達成する経験の繰り返しを通して、生きることへの希望や新しいことに積極的に取り組もうとする自信と勇気の育成を重視するなど努力することの大切さを実感させることも大切である。そうしてより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こすように指導していきたいと考える。

新学習指導要領では、「魅力的な教材の開発と活用」として「先人の伝記」が挙げられている。そこで郷土に生まれ、「言葉」を大切にしながら信念をもって日本最初の英和辞典編纂を成し遂げた英語学者「島村盛助」の考え方や生き方に迫ることを通して、同じ宮代町にクラス児童たちが夢を持って主体的に生きていこうとする心情を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、素直な心の持ち主が多く、よりよいクラスを作りたい。自分を高めたい。クラスみんなで協力し合いたい、という気持ちをみんなが持っている。しかし、ちょっと困難なことに出会うとくじけてしまったり、始めからあきらめてしまったりする傾向にある。

学年での取り組みとして「心をつなげて自分たちの手で 最高の須賀小学校に」を合い言葉にさまざまな行事に学年全員で力を合わせて取り組んできている。1学期の大きな行事である陸上大会でも、目標を持って練習に取り組み、当日はみんなの力を結集して素晴らしい結果と思い出を子どもたち自身の手で作上げることができた。

また、学級では、「みんな元気 みんな笑顔」を学級目標として、みんなが明るく楽しく生活できるように、みんなが笑顔で生活できるように一人一人ができることを全力で取り組んできた。しかし、目標が自分に合っていなかったり、努力が長続きしなかったりとなかなか結果に表れるのに時間がかかる現状である。

さらに、児童の実態を把握するために次のような意識調査を行った。 実施日10月5日 29名

1	あなたにあこがれの人はいますか。	いる	16人	いない	13人
2	あなたに夢や目標はありますか。	ある	27人	ない	2人
	その夢や目標に向かって努力していることはありますか。	ある	24人	ない	5人
3	今夢中になって努力していることはありますか。	ある	23人	ない	6人
4	島村盛助という人を知っていますか。	はい	2人	いいえ	27人
5	あなたは宮代町が好きですか。	好き	10人	どちらかといえば好き	12人
		どちらかといえば嫌い	4人	嫌い	3人

1については、まだ自分の理想の人間像まではイメージがつかめておらず居ないと答えた児童が多い。2~4については、比較的多くの児童が、目標や夢を持っており、それに向かって自分なりに努力していることが分かる。しかし、その反面、夢も目標も努力もしない児童がいることも事実である。どの子も本時のねらいとする価値の自覚に迫れるように授業を展開したい。

内容項目4-(7)の視点から5の質問をしたが、多くの児童が自分たちの住む宮代町が好きである。郷土の偉人「島村盛助」を知ることで、さらに宮代町への愛着や誇りを持って生活していけるようにし

たい。

(3) 資料について

本資料は、主人公「わたし」が、毎日通う通学路にある大きな椋の木がそびえる家に心をひかれ、そこに住んでいた人物について祖父の話をきっかけに「島村盛助」の英語に対する考え方や生き方に触れ、心を打たれるとともに、自分自身も郷土に誇りを持って努力していこうとする主人公の姿を描いたものである

「わたし」は、何気なく通る通学路にある古風な家に心が寄せられ、登下校の楽しみになっている。そして、そこにはどんな人が住んでいるのか興味を持って、祖父に尋ねてみると、祖父は、その家で英語学者が生まれ育ったという思いもよらないことを教えてくれた。さらに興味を深め、郷土資料館の学芸員の方の話により、「盛助」の言葉ということにこだわった考え方に触れる。中でも、7年間もかけて手掛けた「岩波英和辞典」の編纂のこと、その辞書を今でも大切にしている人がいることなどを知り、強く心を打たれる「わたし」の気持ちを話し合わせることで、児童一人一人の価値の内面化へ迫っていききたい。

さらに、今まで育ってきた宮代町に信念を貫き通し偉業を成し遂げた人物がいたことに対し誇りと愛着をさらに深め、自らも目標に向かってよりよく生きていこうとする積極的な姿勢を持たせていきたい。

4. 研究主題とのかかわりと他の教育活動等との関連

研修主題

「生きる力」をはぐくむ小中一貫教育の推進

人とのかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする子どもの育成

(道徳教育を通して)

(1) 研究主題とのかかわり

本時では「希望・勇気・不撓不屈」を育んでいくことから、自分なりの目標を持ち、最後までどんなことがあってもあきらめないということが必要であることに気づかせたい。そして、どんなに失敗や挫折を繰り返しても、希望を持って努力し続ける児童の育成を目指していきたい。

そのために、自分たちの住んでいる宮代町の偉人の教材を扱うことにより、子どもたちの身近な所にこんなにも目標に向かって生き続けて人がいることに触れさせ、自分もがんばっていかうとする意識を高めていきたい。

本資料は、時代背景の理解や資料がたくさんあることなどから、1時間の中で授業を展開するには難しいため、2時間扱いで行う。始めの1時間目で、島村盛助について、資料わたし、柱立てなどを行い、2時間目で話し合いをする。その際、子どもたちに島村盛助の強い生き方がよりとらえやすいように、掲示資料や実物を見せながら話し合いを展開する。

また、自分自身を振り返る場面では書く活動を取り入れ、自分のこれからのよりよい生き方についてじっくり考えられるようにする。

終末では、保護者からの励ましの手紙を渡す。内容は、日頃がんばっていることを書いてもらい、児童がより自信を持ってこれからも目標に向かって取り組めるようにする意欲を持たせたい。

(2) 他の教育活動との関連

事前指導
4月 学級活動 ○めあてを立てる ・6年生になって自分のめあてを決め、達成できるように努力する。
5月 学校行事 ○陸上大会の取り組み ・めあてを持って粘り強く練習し、自分の体力の向上を図る。
6月 体育 ○鉄棒運動 ・めあてに向かって粘り強く練習する。
学校生活を通じて ○よいこと探し・日記

道徳の時間
(6月) 資料名「夢をつかまえよう！」
(11月) 資料名「島村盛助 —日本語と英語をつなぐ だれよりも言葉を大切にした 英語学者—」 ○自分の目標に向かって強い意志を持って取り組んでいった「島村盛助」の生き方を考えることで、自分自身も夢や目標を実現するために努力を惜しまずによりよく生きていこうとする心情を養う。

事後指導
9月 学校行事 ○運動会への取り組み ・鼓笛マスゲームや全校種目等、目標を持って粘り強く練習する
11月 学校行事 音楽 ○校内・町内音楽会への取り組み ・合唱発表に向けてみんなで心を一つにして練習し、聞いている人に想いが伝わるように歌う ○持久走大会 ・苦しくても自分の目標に向かってあきらめずに練習し走りきる。
3月 学級活動 ○自分の成長 ・この一年の成長を見つめ、最高学年としてがんばってきたことを振り返り、さらに中学生への目標を持つ

家庭との連携

学級通信等で、さまざまな行事等において、目標に向かって努力している様子や成果など等を知らせていく。また、家庭でも児童がめあてに向かってがんばっていることについて手紙に書いてもらい、それを渡すことで子どもたちの達成感を高められるようにする。

5. 学習指導過程

(1) ねらい

自分の目標に向かって強い意志を持って取り組んでいった「島村盛助」の生き方を考えることをとおして、自分自身も夢や目標を実現するために努力を惜しまずによりよく生きていこうとする心情を養う。

(2) 展開

	学習活動 (主な発問)	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆◇評価 (評価方法)	時間
深 め る  展 開	1 「わたし」の気持ちを 中心に話し合う。 (1)祖父から話を聞いて、 「わたし」は、盛助のこ とをどう思ったでしょ う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あの古風な家に英語学者 がいたなんて、そうぞう できない。</li> <li>・一体どんな人だったのだ ろう。</li> <li>・どうして英語の辞書を作 ったのだろう。</li> <li>・自分の住んでいる近くに こんなすごい人がいたな んて</li> <li>・もっと知りたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の通う通学路の家に、英語で 有名な人がいたことを自分自身と 重ねて発言させる。</li> <li>・わたしが、盛助に対して興味がわ き、うれしく思っている気持ちに 十分に共感させる。</li> </ul>	3 2 分
	(2)盛助はどんな思いで辞書 の編纂に取り組んだので しょう。  ⑧原稿が真っ赤に染まるま で何度も何度も修正をく り返したのはなぜでしょ う。  ⑨7年という長い間、盛助 の思いを支えたものは なんでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語にふさわしい日本語 をつくろう。</li> <li>・みんなが使いやすい辞書 を作らなければ</li> <li>・これではだめだ。もっと 言い変えなければ</li> <li>・まだまだがんばろう。</li> <li>・日本語と英語を結び付け るためにがんばろう。</li> <li>・絶対にあきらめてはなら ない。</li> <li>・自分の目標だからやり遂 げなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛助の生き方を押さえてから話し 合いに入る。</li> <li>・当時の時代背景を補足しながら話 し合わせる。</li> <li>・盛助の辞書に対する情熱的な思い を押さえて発言させる。</li> <li>・原稿が真っ赤になっている資料を 見せて、盛助の努力がなみならぬ ものだったことを捉えさせる。</li> <li>・1, 2年で終わるはずだったもの を7年も続けたときの心理状況を 考えさせ、自分の目標に向かって 努力し続けた盛助の気持ちを捉え させる。</li> <li>☆盛助の心情に共感し、目標に向か って努力し続けることの大切さを 実感することができたか。</li> </ul>	
見 つ め る	(3)学芸員さんの話を聞いて わたしは、どんなことを 思ったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのことをやりとげる には地道に取り組むこと が大切だ</li> <li>・盛助の姿にとっても感動し た。</li> <li>・自分の住んでいる宮代町 にこんな素晴らしい人が いてうれしい。</li> <li>・ぼくも盛助のように目標 に向かってがんばろう。</li> <li>・つらいことや苦しいこと があってもそれを乗り越 えることが大切だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛助の生き方に触れ、自分も目標 に向かってがんばろうと決めたわ たしの気持ちを押さえる。</li> <li>・自分の住んでいる宮代町に、こん な素晴らしい業を成し遂げた人が いることを誇りに思っているわた しに自分の思いも重ねて感じられ るようにする。</li> </ul>	
	2 自分の生活を振り返る。 ・今日の授業で、盛助さん の生き方から何を学びま したか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に向かってがんばる ことの大切さを学んだの で、わたしも自分の夢に 向かってがんばりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「盛助はすごい」という感想で終わ らないように。自己の生活と結び付 けて考えさせる。</li> <li>☆これからの生活の中で目標に向か</li> </ul>	8 分

			<ul style="list-style-type: none"> <li>もうすぐ持久走大会があるのでそれに向けてもつと練習したい。</li> </ul>	って粘り強く努力していこうとする気持ちが持てたか。 〈ワークシート・観察・発言〉	
終末	あたためる	3 保護者からの手紙を読む。		<ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ、保護者に日頃努力し続けていることに対する励ましの手紙を書いてもらっておき、児童に渡すことで、実践への意欲を持たせる。</li> <li>◇保護者の励ましの手紙で児童にこれからも目標に向かって努力し続けようという思いをさらに高め、実践化につなげることができたか。            (観察)</li> </ul>	5分

### 6 評価の観点

- ☆主人公の気持ちの変化をとらえるとともに盛助の生き方の素晴らしさに気づき、目標に向かって努力し続けることの大切さを実感することができたか。〈観察・発言〉
- ☆保護者の励ましの手紙から自己の良さに気づき、これからも目標に向かって努力し続けようという思いをさらに高めることができたか。〈観察〉
- ◇適切な発問や切り返しによって、児童の思いをまとめたり、深めたり、つなげる話し合いで深めることができたか。
- ◇保護者からの手紙や雰囲気作りによってこれからの実践化につなげることができたか。

### 7 板書計画

